

## 真駒内地域

## 小規模校検討委員会ニュース

真駒内地域小規模校検討委員会では、真駒内地域の学校規模の適正化を進めるための諸課題について具体的な方策を今後検討していきます。検討内容は「小規模校検討委員会ニュース」としてお伝えし、地域の皆さまのご理解とご協力を得ながら進めてまいります。

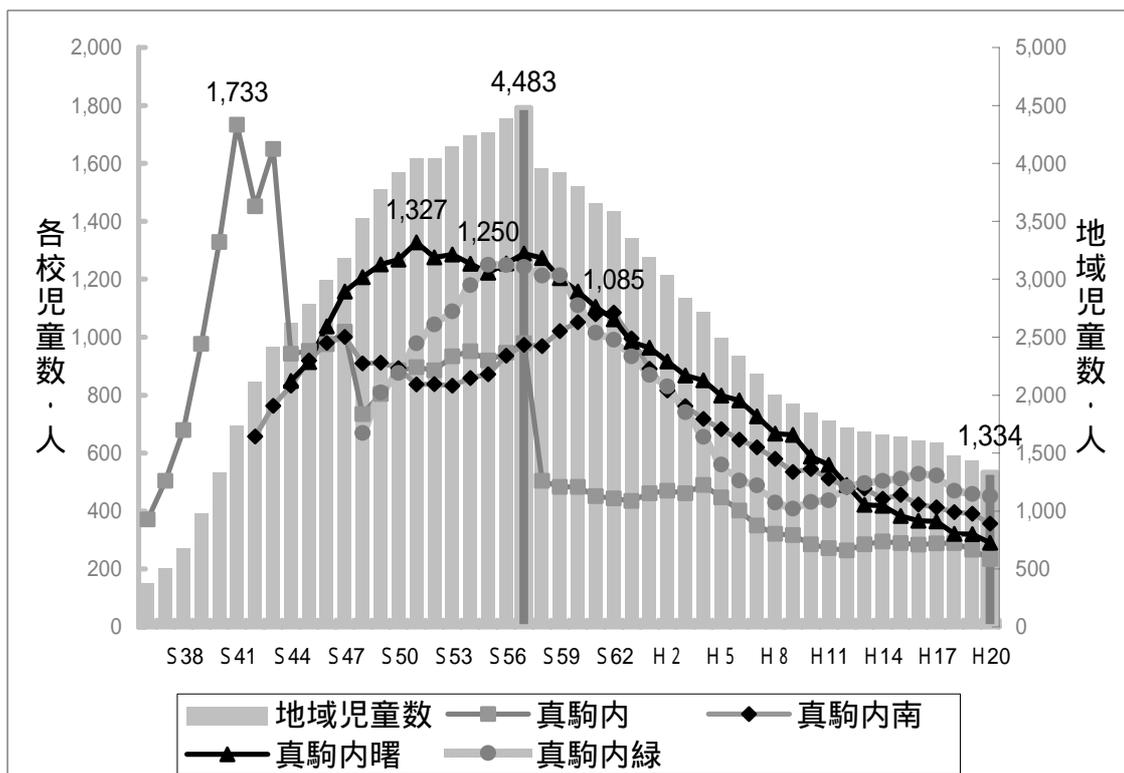
## 真駒内地域 4 校の現状

真駒内地域においては、昭和 36 年に真駒内小学校が平岸小学校から分離して開校したのを皮切りに、真駒内南小学校、真駒内曙小学校、真駒内緑小学校が順次設置されました。

ピーク時の昭和 57 年度には 4 校合わせて 4,483 名の児童が在籍していましたが、その後、児童数は減少を続け、平成 20 年度には 1,334 名でピーク時の 30% となり、将来推計では今後も減少が見込まれています。

このため、真駒内地域は、平成 19 年 12 月に札幌市教育委員会で策定した「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する地域選定プラン[第 1 次]」において、子どもたちにとって良好な教育環境を確保するため、学校規模の適正化を検討すべき地域に選定されています。

真駒内地域の児童数推移



## 真駒内地域 4 校の概要

学 校 名		真駒内小学校	真駒内南小学校	真駒内曙小学校	真駒内緑小学校
					
学級数 (H20.5.1)	普通	9学級	12学級	12学級	15学級
	特別支援	2学級	2学級	2学級	-
児童数 (H20.5.1)	普通	235名	357名	291名	451名
	特別支援	7名	6名	6名	-
教 職 員 数	校長	1名	1名	1名	1名
	教頭	1名	1名	1名	1名
	教諭	11名	17名	16名	19名
	特別支援 教諭	2名	2名	2名	-
	養護教諭	1名	1名	1名	1名
	事務職員	1名	1名	1名	1名
	栄養士	-	-	-	1名
	用務員	1名	2名	2名	1名
	調理員	-	-	-	4名
	校務助手	1名	1名	1名	1名
合計	19名	26名	25名	30名	
開校年度	昭和36年度	昭和41年度	昭和43年度	昭和48年度	
建物面積	5,210 m <sup>2</sup> (校舎4,645m <sup>2</sup> 、屋内運動場565m <sup>2</sup> )	7,629 m <sup>2</sup> (校舎6,287m <sup>2</sup> 、屋内運動場1,342m <sup>2</sup> )	6,803 m <sup>2</sup> (校舎5,808m <sup>2</sup> 、屋内運動場995m <sup>2</sup> )	6,392 m <sup>2</sup> (校舎5,337m <sup>2</sup> 、屋内運動場1,055m <sup>2</sup> )	
校地面積	26,159 m <sup>2</sup>	21,648 m <sup>2</sup>	15,585 m <sup>2</sup>	13,689 m <sup>2</sup>	

## 準備会における説明、検討内容

平成20年7月22日午前10時より、真駒内小学校にて開催された準備会では、以下の事項についての説明や検討が行われました。

小規模校検討委員会の設置について

委員長、委員長代理の選出、  
司会進行の選任

検討委員会の運営方法

関連する情報の提供 ほか



## 準備会での決定・確認事項

● 真駒内地域小規模校検討委員会を設置する

● 委員長には常葉宏史氏、委員長代理には工藤達成氏が選出された

● 司会進行には有我功氏が選任された

● 検討の結果、本委員会は非公開で行うこととなった

● 本委員会の検討内容は「検討委員会ニュース」として地域に情報を発信する

- ・ 4校の保護者には各学校から配布
- ・ 地域の一般世帯には町内会組織を通じて町内回覧

## 各委員から寄せられた意見

各学校の事情は違うが、これからはどの学校も児童数は減少していくのだから、この地域の教育のあり方という観点で考えるべきである

検討を進める際には、小規模校、大規模校それぞれのメリット、デメリットを明らかにしながら、地域の子どもたちのために考えていくことが大切である

子どもが少ないことで、目が届きやすいなどのメリットもあると思う

ずっと同じメンバーで小学校生活を過ごすことはどうかと思うので、いろいろな子どもとふれあえるような機会は必要である

共通の文化・土台を持った学校であるので、地域での日常的な交流を大切にしながら、一つのものをつくっていかれたらと思う

家族間の交流がほとんどない状況で、校区が広がることにより、子ども同士・保護者同士の交流も少なくなるという不安もあるので、子供同士・保護者同士の交流を密にしていける学校づくりをすべきである

校区が広がると、学校が遠くなるケースも想定されるため、子どもたちの安全を第一に考えるべきである

通学時間が長くなるので、通学時に加え、放課後の防犯対策も考えていく必要がある

建物の老朽化など施設面にも配慮すべきである

「ことばの教室」などの児童・保護者についても、不安が生じないように配慮する必要がある

## 検討委員会の構成（五十音順・敬称略）

司会進行	有 我 功	(社)北海道未来総合研究所 研究理事
	小 倉 悦 子	真駒内緑小学校 校 長
	織 田 緑	真駒内南小学校 P T A代表
	金 谷 千佳子	真駒内南小学校 P T A代表
	蒲 生 みや子	真駒内南小学校 校 長
委員長代理	工 藤 達 成	元:創成小学校 校長(現:北海道教育振興会 事務局長)
	糀 幸 恵	真駒内緑小学校 P T A代表
	金 あけみ	真駒内曙小学校 P T A代表
	枝 園 友 美	真駒内小学校 P T A代表
	城 崎 則 幸	真駒内曙小学校 校 長
	鈴 木 實	真駒内連合町内会 代 表
	田 中 隆	真駒内小学校 校 長
	對 馬 眞 弓	真駒内曙小学校 P T A代表
委員長	常 葉 滋 史	真駒内連合町内会 代 表
	山 田 晴 美	真駒内小学校 P T A代表
	渡 部 正 子	真駒内緑小学校 P T A代表

## 第 1 回検討委員会について

地域の子どもたちにとって、良好な教育環境を確保するための検討を行う本委員会は、次回の第 1 回検討委員会より具体的な活動に入ります。なお、開催は 9 月を予定しています。

### 事務局

札幌市教育委員会総務部計画課（配置計画担当）

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 S T V 北 2 条ビル

TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837

MAIL haichikeikaku@city.sapporo.jp

この検討委員会ニュースは、近日中に「札幌市教育委員会ホームページ」内（[http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/shokibo\\_kentou.html](http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/shokibo_kentou.html)）にも掲載を行う予定です。

真駒内地域小規模校検討委員会では、真駒内地域の皆様からのご意見をお待ちしております。事務局宛にご意見をお送りください。